

## 重点目標

介護保険制度がスタートして20年を経過し、厚生労働省は介護保険財源確保と事業継続を旗印に、制度改正改定の度に給付費の絞り込みと、利用者負担増に向けた方策を検討し続けている。

この結果、全国の特別養護老人ホームの収支も悪化し36.2%が赤字施設（全国老施協平成29年度収支状況調査）であるという現実が報告された。又県内でも特別養護老人ホームの空床を抱える施設が散見されるようになった。

この様な中 当法人では優秀な人材の確保育成、離職者ゼロを目指しながら職員全員が安心して働き続けられる様、更に福利厚生充実を図りながら若者が働きやすい職場「ユーザー企業」としての認定を継続して行くよう努力を重ね、下記項目に重点を置いた活動を展開する。

### 1、積極的に明るい笑顔で挨拶をする。

優秀な人材の確保、育成が法人の将来への継続性を高めていく要である。優秀な職員は自ら明るい笑顔で挨拶をする。この第1歩が周りの利用者、家族、地域、職員間の信頼関係を密にし、チームワークを更に強固にする。この事が基盤となって利用者一人ひとりの望む将来像、状態像に基づき皆が願う“自立”を叶えるための伴走型介護を提供することが出来る。

### 2、心身ともに健康で体力ある職員づくり。

福利厚生更なる充実を図りつつ職員の「心と体の健康」増進に努め、地域交流広場も積極的に利用することで、「体力ある逞しい職員」をつくる。尚地域の方には幅広くご利用頂けるようイベントの企画、立案、交流を深めながら、地域を上げて健康寿命日本一を目指して努力を重ねる。

### 3、多職種連携により骨折者、入院者ゼロを目指す。

入居者の方、利用者の方が骨折や体調不良等で長期入院することは筋肉量を一気に減らし、介護度を上げ本人や家族にとっては辛く重い負担になる。苑に取っても稼働率を下げ経営を圧迫する。そこで多職種連携による科学的介護の実践や見守りセンサー等介護ロボットをフル稼働させ骨折者、入院者ゼロを目指す。

令和2年度 社会福祉法人大喜福社会 喜楽苑  
部署目標

【 従来型 】

“ 笑顔の輪を広げよう”

優しい態度と言葉遣いでプロ意識  
心配りのできる人を目指す  
統一ケアで事故入院者ゼロ

【 ユニット 】

1. 危険予知力を高め事故防止に努める
  - ・観察力や気付く力を養い、危険予測ができるようになる
  - ・班会議での事故検証の内容を深め、事故を防止する
2. 丁寧な介護で入居者の満足度を高めよう
  - ・スキンケア、口腔ケアを充実させる
  - ・細やかな配慮で、快く過ごせる環境を作る

【 医務室 】

『体調管理と事故防止に努め入院者ゼロを目指す』

- 口腔ケアの徹底で誤嚥性肺炎を予防する
- ポジショニングの徹底で拘縮による骨折を予防する
- 服薬事故をゼロにする

【 調理 】

1. 安心・安全な食事提供に努める。
2. 多職種と連携し栄養ケアの充実を図る。

【 事務室 】

1. 積極的に明るい笑顔で挨拶をする  
利用者・ご家族・地域の皆様との関わりを大切にし、明るい挨拶を心がける
2. 疲れにくい体づくり  
休暇取得や「ちょこトレ」等を実践し、心と体の健康増進に努める

【 小規模多機能 】

「家族も安心、在宅生活」

1. 利用者・家族、地域の方との関係改善、信頼関係を深める
2. 食生活を見直し低栄養を予防する
3. 多職種で自宅訪問を行い情報の共有、状態の悪化を防ぐ

## 【 通所介護 】

1. 「和顔愛語、先意承問」  
和やかな顔で思いやりの言葉で人に接し、先に相手の気持ちを察して何をすべきか考え対応する
2. 「日々好日」  
連携とチームワークを図り自立支援の為のかかわりに努め、在宅生活の継続を目指す
3. 「目配り・気配り・心配り」  
多職種連携により利用者個人の有する能力と可能性を「①引き出す②尊重する③強化する」

## 【 訪問介護 】

1. 報・連・相を密に行う  
ヘルパー間で情報共有をして、体調不良や変化があった場合は早めの対応を心掛ける 他事業所への連絡にも繋げる
2. 健康に気をつけてよく笑う  
利用者に笑顔で挨拶して声掛けをする。意識しながら個々に合った運動を取り入れて体を動かし笑う
3. 時間を守る  
個々により訪問時間の違いはあるが、出来ることは声掛けして一緒に行う 手順書に沿ってケアを行い、時間内に終わる工夫をする

## 【 居宅介護 】

1. 笑顔でおはよう！笑顔でお疲れ様！  
1日の始まりと終わりを笑顔で挨拶し、気持ちよく仕事をする
2. ストレスに負けないメンタルづくり  
仲間同士気兼ねなく話せる関係を作っていく事でメンタル面を強化し、一流の介護支援専門員をめざす

## 【 包括支援センター 】

- 相談しやすい雰囲気づくりに取り組む  
住民から信頼される真摯な対応を心がける

